

洪水に備えて『避難確保計画』を作ろう
～逃げ遅れゼロ実現を目指して～
ビデオ活用の手引き



令和2年3月

はじめに

平成29年6月の水防法改正に伴い、浸水が想定される要配慮者利用施設では、避難確保計画の作成と避難訓練の実施が義務となりました。

このビデオでは、荒川の下流域にある要配慮者利用施設の「洪水時の避難確保計画」作成を支援するために、避難確保計画の基礎知識、作成のポイント、具体的な作成の手順を解説しています。

要配慮者利用施設の利用者、並びに職員の方たちの逃げ遅れゼロ実現を目指し、避難確保計画作成の支援ツールとして、本ビデオと手引きを活用していただけると幸いです。

ビデオ活用の手引きの内容

- | | |
|---------------------------------|-------------|
| 1. 3つの特徴 | ・・・・・・・・P 2 |
| 2. 各チャプターの主な内容 | ・・・・・・・・P 3 |
| 3. 避難確保計画作成チェックシートと「避難方法の決定」フロー | ・・・・・・・・P 4 |
| 4. ビデオで紹介している資料・情報のリンク集 | ・・・・・・・・P 7 |

1. 3つの特徴

このビデオには、避難確保計画の作成を支援するための3つの特徴があります。

特徴1 避難確保計画の作成状況に応じて観る内容を選択できます

ビデオは、3つの章（チャプター）で構成されています。ビデオのメニューからチャプターを選択し、必要なところから視聴することができます。



➡ 本手引き P 4 参照

特徴2 避難確保計画の作成に向けた“施設の現状”を整理できます

ビデオと付属する『避難確保計画作成 チェックシート』活用して、避難先や避難方法等を考えるにあたり必要な水害のリスクや施設の設備・備蓄、施設利用者の症状等の“施設の現状”を整理することができます。

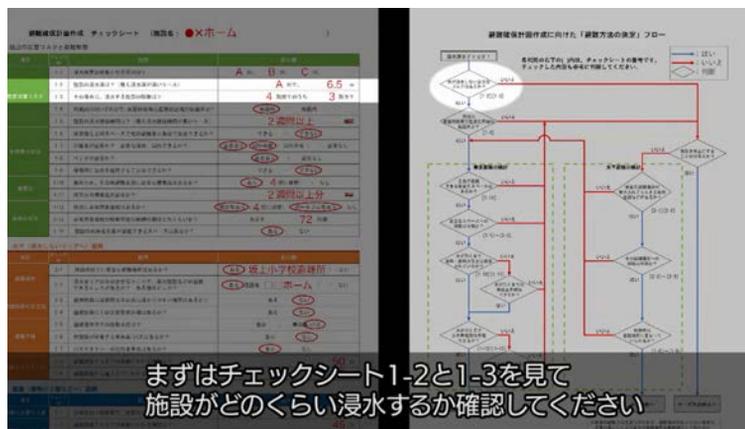
➡ 本手引き P 5、P 6 参照



特徴3 “施設の現状”に応じた避難方法を計画できます

ビデオと付属する『避難確保計画作成に向けた「避難方法の決定」フロー』活用して、“施設の現状”に応じた避難方法を計画することができます。

➡ 本手引き P 5、P 7 参照



2. 各チャプターの主な内容

ビデオは、3つのチャプターに構成され、それぞれ以下の内容が収録されています。

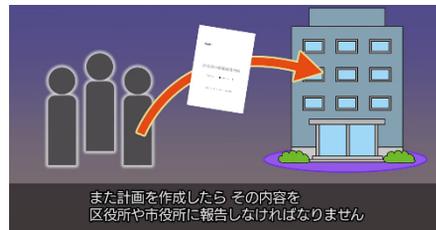
(チャプター1) 避難確保計画とは

8分48秒

荒川下流域における水害の危険性や避難確保計画作成の目的や考え方等、避難確保計画の基礎知識について解説しています。

主な内容

- ・ 要配慮者利用施設における避難確保計画作成や訓練実施の義務化の経緯
- ・ 令和元年台風第19号の大雨とその教訓（介護老人福祉施設の体験談を通じて）
- ・ 荒川が氾濫したときに想定される被害と影響
- ・ 避難確保計画作成の概要



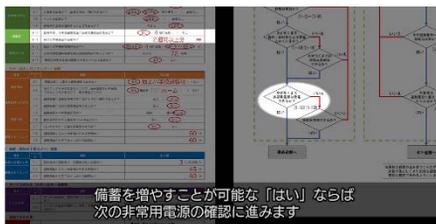
(チャプター2) 作成のポイントをチェックしてみよう

37分21秒

避難確保計画作成のポイントを、付属の「避難確保計画作成チェックシート」と「避難方法の決定フロー」を用いながら、わかりやすく説明しています。

主な内容

- ・ ポイント① 各施設のリスクを知ろう！
- ・ ポイント② 避難のタイミングと場所を考える
- ・ ポイント③ 水平避難のチェックポイント
- ・ ポイント④ 垂直避難のチェックポイント
- ・ ポイント⑤ サービス休止の場合のチェックポイント
- ・ ポイント⑥ 緊急時の対応についても検討を！



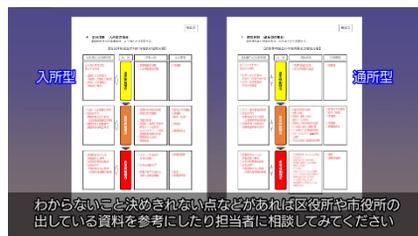
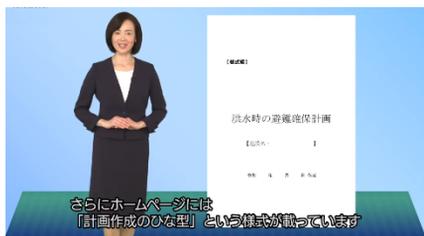
(チャプター3) 作成の手順

17分19秒

避難確保計画にどのような内容を記入するのか、避難確保計画のひな型に記入しながら解説しています。

主な内容

- ・ 避難確保計画作成のひな形や手引きの紹介
- ・ 避難場所や避難経路の記入
- ・ 防災に関する情報収集方法の記入
- ・ 避難誘導や防災体制の記入
- ・ 資機材や備蓄品の記入
- ・ 防災に関する教育や訓練の方針の記入



3. 避難確保計画作成チェックシートと「避難方法の決定」フロー

本手引きP4に記載の「避難確保計画作成 チェックシート」、P5に記載の「避難確保計画作成に向けた「避難方法の決定」フロー」は、避難確保計画作成をお手伝いするための付属資料です。ビデオのチャプター2の内容と連動していますので、視聴しながらシートやフローに記入してみてください。

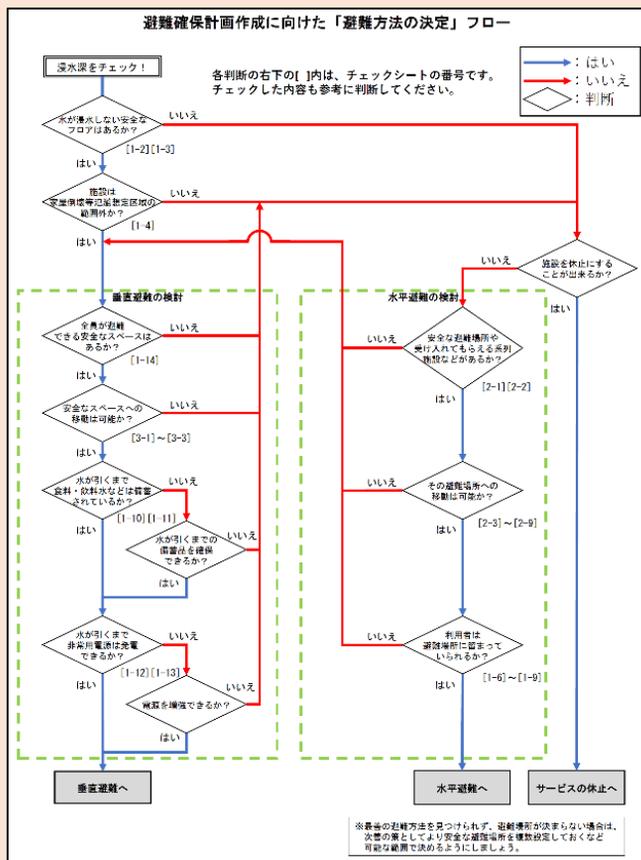
避難確保計画作成 チェックシート

水害が発生した場合のあなたの施設への影響や施設の防災上の現状などを確認・整理するためのシートです。
あなたの施設の避難方法を決める判断材料として使用します。

避難確保計画作成 チェックシート (施設名:)			
1. 施設の災害リスクと避難形態			
項目	チェック項目	判断	記入欄
施設災害リスク	1-1	浸水被害の想定となる河川は？	東、 南、 西、
	1-2	浸水の発生は？(最も被害が深いケース)	あり、 あり、 あり、
	1-3	その被害に、対応する対応の程度は？	軽微、 中程度、 深刻
	1-4	対象河川のいづれかで、浸水し被害発生は想定区域の範囲は？	範囲内、 範囲外
	1-5	浸水の発生継続時間は？(最も浸水継続時間が長いケース)	時間
利用者の状況	1-6	高齢者などのスペースで他の施設者と集団で生活できるか？	できる、 できない
	1-7	介護が必要か？ 避難が容易、 両行可能、 両行不可、 必要なし	必要あり、 両行可能、 両行不可、 必要なし
	1-8	ベッドが必要か？	必要あり、 必要なし
災害品	1-9	避難時に人命を救助することはできるか？	できる、 できない
	1-10	食料や水、その他避難時に必要な備品はあるか？	あり(数に留意)、 なし
施設の状況	1-11	何らかの備品が必要か？	あり、 なし
	1-12	施設に非常用発電機はあるか？	設置あり(数に留意)、 ポンプは設置あり、 なし
	1-13	非常用発電機の稼働可能継続時間はどれくらいか？	約分、 約分、 約分
	1-14	施設の避難誘導員が避難できるスペースはあるか？	あり、 なし
2. 水害(浸水しないエリアへ) 避難			
項目	チェック項目	判断	記入欄
避難場所	2-1	施設の近く(安全な距離)避難場所はあるか？	あり()、 なし()
	2-2	浸水エリア以外の避難場所として、集団施設などの避難できる場所があるか？(ある場合はどこか？)	あり()、 なし()
避難経路の安全性	2-3	避難経路に津波避難経路の表示がけりやすい場所はあるか？	あり、 なし
	2-4	避難経路上に避難誘導設備はあるか？	あり、 なし
避難手段	2-5	避難場所までの移動手段は？	徒歩、 乗用車、 バス
	2-6	自力で移動する乗用車・バスはあるか？	あり、 なし
避難のタイミング	2-7	バスやタクシーの予約システムはあるか？	あり、 なし
	2-8	避難開始するまでの準備にかかる時間は？	分
	2-9	避難開始から完了までにかかる時間は？	分
3. 備品(建物の上層などへ) 避難			
項目	チェック項目	判断	記入欄
移動に必要な人員	3-1	利用者の上層移動で、支援者は何人必要か？	人(利用者と)
	3-2	避難開始するまでの準備にかかる時間は？	分
避難のタイミング	3-3	避難開始から完了までにかかる時間は？	分
	4. サービスの休止(休校・休所・休園等)		
項目	チェック項目	判断	記入欄
休止の判断	4-1	サービス休止は、状況が厳しくなる時刻前までに判断すべきか？	2時間、 1時間、 業務の順
	4-2	サービス休止の判断時に、関係・関係するべき行政の部署はあるか？	あり(関係)、)、 なし
5. 避難方法の決定			
項目	チェック項目	判断	記入欄
避難方法の決定	5-1	施設災害リスク、施設利用者の状況などを勘案した上で、最終の避難方法は？	<ul style="list-style-type: none"> ● 垂直(建物の上層などへ) 避難 ● 水平(浸水しないエリアへ) 避難 ● サービスの休止(休校・休所・休園等)

避難確保計画作成に向けた「避難方法の決定」フロー

あなたの施設の避難方法を検討するためのフローです。
「避難確保計画作成 チェックシート」の記入内容を踏まえ、フローの設問に答えながら、あなたの施設における適切な避難方法を確認します。



避難確保計画作成 チェックシート (施設名:)

1. 施設の災害リスクと避難形態

項目	チェック No	設問	記入欄
想定災害リスク	1-1	浸水被害の対象となる河川は？	川、川、川、
	1-2	施設の浸水深は？（最も浸水深が深いケース）	川で、 m
	1-3	その場合に、浸水する施設の階数は？	階建てのうち 階まで
	1-4	対象河川のいずれかで、家屋倒壊等氾濫想定区域の範囲外か？	範囲外 ・ 範囲内
	1-5	施設の浸水継続時間は？（最も浸水継続時間が長いケース）	時間
利用者の状況	1-6	体育館などのスペースで他の避難者と集団で生活できるか？	できる ・ できない
	1-7	介護者が必要か？ 必要な場合、同行できるか？	必要あり（同行可能 ・ 同行不可） ・ 必要なし
	1-8	ベッドが必要か？	必要あり ・ 必要なし
	1-9	停電時に生命を維持することはできるか？	できる ・ できない
備蓄品	1-10	食料や水、その他避難生活に必要な備蓄品はあるか？	あり（ 階に保管） ・ なし
	1-11	何日分の備蓄品が必要か？	日分
施設の状況	1-12	施設に非常用発電機はあるか？	固定型あり（ 階に設置） ・ ポータブル型あり ・ なし
	1-13	非常用発電機の稼働可能な継続時間はどれくらいか？	およそ 時間
	1-14	施設の利用者全員が避難できるスペースはあるか？	ある ・ ない

2. 水平（浸水しないエリアへ）避難

項目	チェック No	設問	記入欄
避難場所	2-1	施設の近くに安全な避難場所はあるか？	ある（ , , ） ・ ない
	2-2	浸水エリア以外の安全なところで、系列施設などの避難できる場所があるか？ ある場合どこか？	ある（施設名: ） ・ ない
避難経路の安全性	2-3	避難経路に道路冠水等の水に浸かりやすい場所はあるか？	ある ・ ない
	2-4	避難経路に土砂災害警戒区域はあるか？	ある ・ ない
避難手段	2-5	避難場所までの移動手段は？	徒歩 ・ 乗用車/バス
	2-6	自施設が所有する乗用車/バスはあるか？	あり ・ なし
	2-7	バスやタクシーの契約事業者はあるか？	あり ・ なし
避難のタイミング	2-8	避難開始するまでの準備にかかる時間は？	分
	2-9	避難開始から完了までにかかる時間は？	分

3. 垂直（建物の上階などへ）避難

項目	チェック No	設問	記入欄
移動に必要な人員	3-1	利用者の上階移動で 支援者は何人必要か？	人/利用者1人
避難のタイミング	3-2	避難開始するまでの準備にかかる時間は？	分
	3-3	避難開始から完了までにかかる時間は？	分

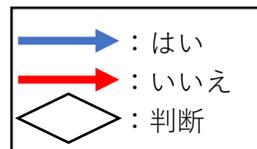
4. サービスの休止（休校・休所・休園等）

項目	チェック No	設問	記入欄
休止の判断	4-1	サービス休止は、状況が厳しくなる何日前までに判断すべきか？	2日前 ・ 1日前 ・ 当日の朝
	4-2	サービス休止の判断時に、調整・協議すべき行政の部署はあるか？	あり（具体的に ） ・ なし

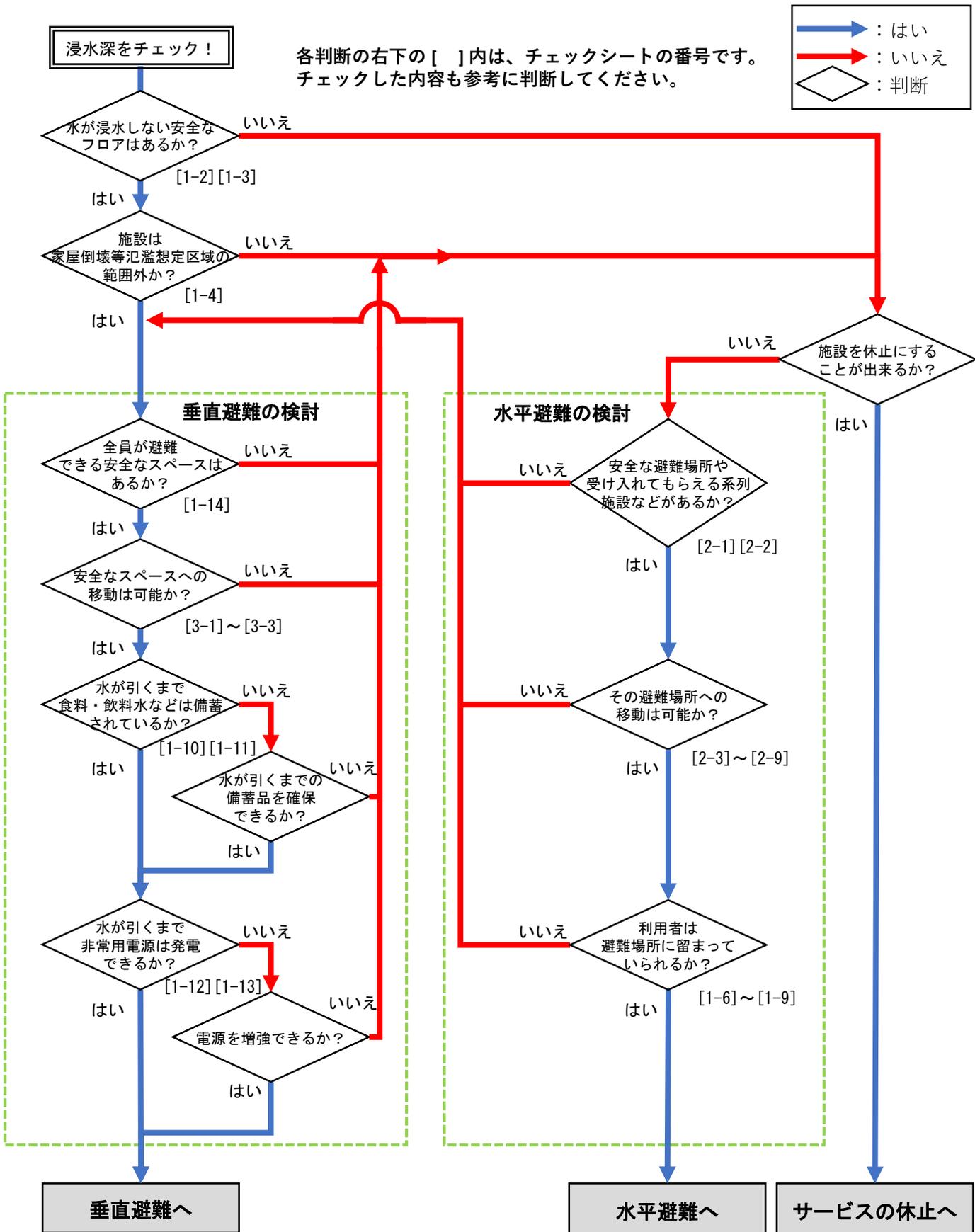
5. 避難方法の決定

項目	チェック No	設問	記入欄
避難方法の決定	5-1	想定災害リスク、施設利用者の状況などを勘案した上で、施設の避難形態は？	●垂直（建物の上階などへ）避難
			●水平（浸水しないエリアへ）避難
			●サービスの休止（休校・休所・休園等）

避難確保計画作成に向けた「避難方法の決定」フロー



各判断の右下の []内は、チェックシートの番号です。
 チェックした内容も参考に判断してください。



※ 最善の避難方法を見つけられず、避難場所が決まらない場合は、次善の策としてより安全な避難場所を複数設定しておくなど可能な範囲で決めるようにしましょう。

4. ビデオで紹介している資料・情報のリンク集

ビデオでは、避難確保計画作成にあたり参考となる計画のひな形やハザードマップ、水害が発生したときの施設の浸水深を確認できるサイト等を紹介しています。
避難確保計画作成の際の参考資料として活用してください。

避難確保計画のひな形

要配慮者利用施設に係る避難確保計画作成の手引き

国土交通省の以下のサイトで確認できます。

<http://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/jouhou/jieisuibou/bousai-gensai-suibou02.html>



ひな型や手引きは、ページの中段「避難確保計画作成の手引き」内にあります。（右図参照）



ハザードマップ（防災マップ）

各区市のハザードマップは、以下のサイトで確認できます。

<https://disaportal.gsi.go.jp/>



また、区役所や市役所の窓口で配布しているほか、区市のホームページでも確認できます。

〇〇区 ハザードマップ

検索

荒川洪水浸水想定区域

荒川が氾濫した場合に想定される浸水区域は、国土交通省 荒川下流河川事務所のホームページで確認できます。

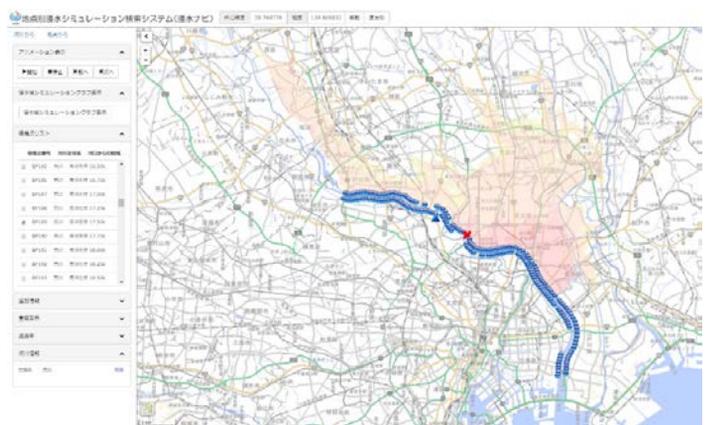
<https://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage00057.html>



国土交通省の「浸水ナビ」

どこの地点で堤防が決壊（破堤）したら、自宅や会社等が浸水するのか、堤防決壊（破堤）後、どこが・いつ・どのくらい浸水するかを確認できます。（右図参照）

<http://suiboumap.gsi.go.jp/>



川の防災情報

降雨状況や河川の水位情報を確認できます。

<https://www.river.go.jp/>



※記載しているURLは、今後、変更される可能性があります。正しいページが表示されない場合は、情報名・キーワードで検索してください。

ビデオの使用上の注意

ビデオは、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及びその支援（説明会等での上映等）を目的としています。それ以外の目的で、ビデオに収録されている映像等を無断で複製・使用することは固く禁じます。

洪水に備えて『避難確保計画』を作ろう ～逃げ遅れゼロ実現を目指して～

制作：令和2年3月

制作：荒川水系（東京都）大規模氾濫に関する減災対策協議会（事務局 荒川下流河川事務所）

監修：松尾一郎 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター客員教授

映像協力：国土交通省、国土地理院、気象庁、名古屋市消防局、板橋区、足立区